

NPO 法人 北海道学習障害児・者親の会 クローバー 主催 クローバー 例会 の ご案内

私達「NPO法人北海道学習障害児・者親の会 クローバー」では、各方面から専門家・有識者・経験者等をお迎えして、様々なテーマについて学び合う「例会」を開催しています。ぜひお出でくださいますよう、ご案内いたします。



◆10月1日(木) 10:00~11:30 発達障害のある子どもの保護者 限定/定員 15名 「親の学びのために」

《進行》 長田じゅん子(クローバー事務局長)

《会場》 札幌市社会福祉総合センター 第2会議室 (札幌市中央区大通西19)

前半は長田事務局長の話を通して、後半はグループ懇談を通して、子どものこと私達親自身のことを一緒に考えましょう。

※この回は「発達障害のある子どもの保護者」限定です。クローバー会員と一般の保護者の方でグループになり懇談します。お子さんのことで心配がある方、同じような子どもを育てている親と交流したい方、クローバーの雰囲気を知りたい方ご参加ください。

◆11月7日(土) 14:00~16:00 ※受付 13:30~ 定員 30名 「感覚統合を日常生活に活かすには？」

《講師》 世良彰康氏(こども支援ルーム)

《会場》 札幌市生涯学習センターちえりあ3F 研修室2(西区宮の沢1条1丁目)

※地下鉄東西線:宮の沢駅、宮の沢駅バスターミナル下車/地下直結通路徒歩約5分

「感覚統合」と聞くと、特別な道具を使った療育をイメージされる方も多いかもしれません。しかし、感覚統合は特別な活動の中だけで育つものではなく、毎日の生活や遊びの中にもたくさんのお机があります。子どもたちは、走る・跳ぶ・登る・揺れる・触る・運ぶなど、さまざまな活動を通して、身体の動きや感覚を経験しています。例えば、公園で遊ぶ、布団やクッションで身体を動かす、荷物を運ぶ、料理や工作をするなど、身近な活動も大切な感覚経験になります。今回は、「なぜこの遊びが大切なの?」「家庭でどんなことができるの?」といった疑問を取り上げながら、子どもの感覚の特徴を理解し、日常生活の中で無理なく取り入れられる工夫について、具体的にご紹介します。お子さんの「困った行動」を見るだけではなく、「どんな感覚を求めているのかな?」という視点を持つことで、子どもの姿が少し違って見えてくるかもしれません。ぜひ一緒に、遊びや生活を通した「感覚の育ち」について考えてみませんか?

◆12月1日(火) 10:00~11:30 定員 30名 「発達障害と脳の多様なありかた」

《講師》 室橋春光先生(北海道大学名誉教授/クローバー顧問)

《会場》 札幌市社会福祉総合センター 第2会議室(札幌市中央区大通西19)

発達障害の最近の動向もお話いただき、みなさんとざっくばらんにトークをしながら理解を深めたいと思います。



クローバーHPでもご案内しております。 <http://www.ld-clover.info/>
今後の予定につきましても、決まり次第随時掲載して参ります。



参加費

一般 600 円、賛助会員 400 円、正会員 200 円

申込み

各開催日の3日前までに、次の①~③(④、⑤)をお知らせください。

①氏名(ふりがな)、②所属(保護者の方はその旨とお子さんの年代/幼・小・中・高・青年)

③連絡先、FAXの方は④FAX 番号(満席・変更等の場合返信します。)

⑤10月例会は「話題にして欲しいこと・悩んでいること」もお知らせください。出来る範囲で準備・対応致します

お待ちしております!



◆Eメール clover.oyanokai@gmail.com (件名「〇月例会申込み」)

◆FAX 011-299-9639 (クローバー事務所)